Fidabio

Flow Induced Dispersion Analysis

低分子-タンパク質間相互作用の解析

迅速で正確かつ信頼性の高いデータを取得し、生物物理学的洞察を加速

FIDAは絶対的なサイズ、すなわち流体力学的半径（Rh）を主に測定しています。さらに、Lambda Dynamics (LD：蛍光波長の変化)とBinding Related Intensity Change (BRIC：結合による強度変化)を測定することにより、その精度を向上させます。これらのFIDA測定は、結合／非結合、可溶性、コンフォメーション変化、サンプル損失などに関する貴重な情報を提供します。

Fida Neo

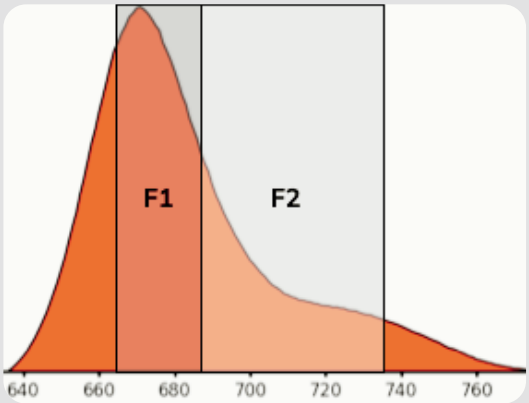
ナノ粒子サイズ・分子間相互作用解析システム

固定化不要：溶液中でのカイネティクス解析

FIDA測定は、溶液中での分子サイズ変化に基づいて、安定性、親和性、カイネティクスなど様々な情報を提供します。Fida Neo高感度検出器を用いることで、5%未満、多くの場合1%の変化を検出可能です。これにより、Fida Neoは直接的なサイズ測定に基づく生物物理学的洞察を得るという、他に類を見ない能力を提供します。

Fidabio

低分子とタンパク質の相互作用解析を可能にする FIDA LDとFIDA BRIC

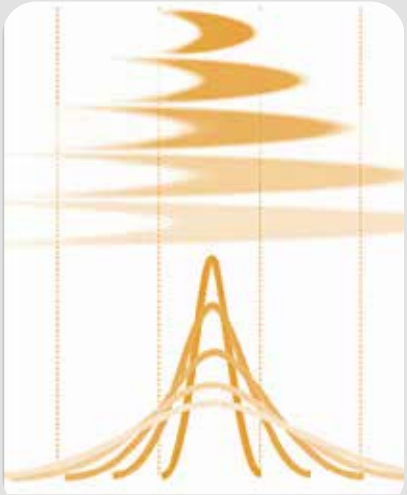


Wavelength (nm)

LAMBDA DYNAMICS

波長シフト測定による感度向上

Fida Neo検出器は、低分子相互作用の分析感度とデータ信頼性を高めるために比率測定を行います。この独自技術を、FIDA Lambda Dynamics、あるいはFIDA LDと呼びます。これは、標準的なFIDA実験より得られる蛍光比率計測に基づいています。



BINDING RELATED INTENSITY CHANGE

蛍光強度の変化測定による感度向上

FIDA解析では、FIDAソフトウェアが自動的に蛍光強度の変化を収集します。分子（タンパク質や小さなリガンドなど）が互いに結合したり、環境変化によるタンパク質のコンフォメーション変化の際に生じる蛍光強度の変化を測定します。これをFIDA BRICと呼びます。

輸入販売元

KIKO・TECH
キコーテック株式会社 事業開発部

本　　社　大阪府箕面市船場西三丁目10番3号
〒562-0036　TEL　072(730)6790　FAX　072(730)6795
東京支社　神奈川県川崎市中原区新丸子東三丁目1200番地 KDX武蔵小杉ビル
〒211-0004　TEL　044(430)3245　FAX　044(433)4390

https://www.kiko-tech.co.jp/

- 掲載内容は 2025 年 4 月現在のものです。
- 掲載内容は予告なしに変更する場合がありますので予めご了承ください。
- 掲載製品は試験研究目的のみにご使用いただけます。